

# 2022 年度事業報告

## 【放射能測定事業】

福島第一原発の処理汚染水を海洋放出するかの瀬戸際の中、海洋調査の内容や回数を見直し、モニタリングの強化を進めました。海水などの自由水型トリチウムだけではなく、魚などの組織自由水トリチウムや有機結合型トリチウムの測定を行う設備として、トリチウム測定に特化した日立アロカ LSC-LB8 液体シンチレーションカウンタを導入し、環境中の小さな変化にも気づける体制を整えました。日々、分析技術の向上を図っています。

福島第一原発 1.5 km 沖の海洋調査の実施も年 4 回行う事で、季節によって海流が変わる変化への対策もしっかり行っています。この調査も私たちだけでは困難な作業ですが、毎回多くの方々のご協力があり、水深からの海水採取や魚釣り等、継続して行う事ができています。

また、このデータを基に、いわき市長へ【東京電力福島第一原子力発電所処理汚染水放出に関する環境モニタリングの官民連携について】の要望を行いました。「多くの市民が納得していない中、住民の意思を無視し処理汚染水の海洋放出を進めることは勝手であり、いわき市としても慎重な対応で臨んでほしい。」という内容です。いわき市長は、「参考にさせていただく」と応じ、その後いわき市より「万が一に備えるため、他地域の環境中トリチウムを測定し、比較できる体制を整えてほしい。」と依頼がありました。全国の方の協力を得て他地域の環境中トリチウムの分析も行いました。

また、新たに重視して実施した調査として、双葉郡大熊町の環境放射能測定です。調査の背景として、2022 年 6 月 30 日、双葉郡大熊町の帰還困難のうち、特定復興再生拠点区域に指定された 860ha の避難指示が解除されました。特定復興再生拠点区域において、居住のための避難指示解除の要件は、被ばく線量が年間 20mSv を下回ることとされ、空間線量率に換算すると、毎時 3.8 $\mu$ Sv 以下とされていました。また、0 歳から 15 歳の子どもたちが通う、認定こども園と小中学校が一体となった「学び舎ゆめの森」の新校舎が 2023 年夏に開校することに伴い、町外に避難して新しい生活基盤を築いていた家族は、帰るか、帰らないかの判断を迫られました。子どもたちの被ばくリスクを低減させるため大熊町に働きかけ、空間線量や土壌の測定を依頼し測定データの開示を求めたそうですが、なかなか取り合ってもらえず、「現状を知りたい」との母親たちの切なる声がありました。お母さんたちの世界共通の願いは、子どもが健やかに育つことです。私たちは、子どもたちの安全を確認すべく、お母さんたちと空間線量、土壌の放射能濃度の測定を行い、大熊町にデータを提出し、早急に対策をとってもらようよう働きかけました。

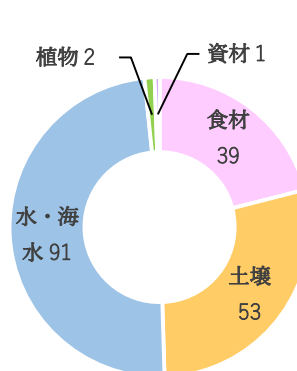
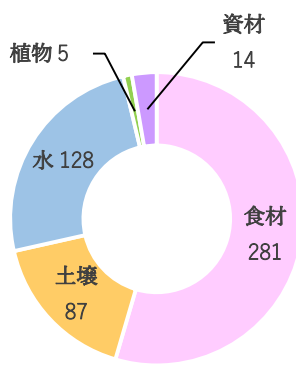
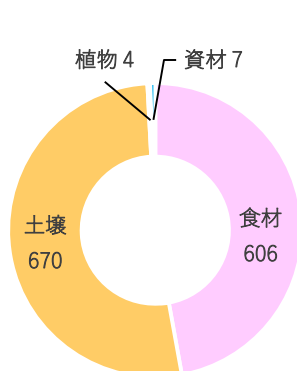
原発事故から 13 年目となりますが、未だに続く放射能汚染、処理汚染水の海洋放出、先の見えない廃炉作業、避難や帰還と、多くの問題を抱えていますが、昨年度も多くの方々のご協力の元、被災地で日々起る課題に取り組むことが出来た 1 年でした。

○2022 年度測定件数 合計 1988 件(セシウム 137、セシウム 134、ストロンチウム 90、トリチウム)

Nal シンチレーション測定器  
(セシウム 137、セシウム 134)  
総測定件数：1,287 件

ゲルマニウム半導体測定器  
(セシウム 137、セシウム 134)  
総測定件数：515 件

液体シンチレーションカウンター  
(ストロンチウム 90、トリチウム)  
総測定件数：186 件



#### ○さまざまな存在形態のトリチウムの測定に向けての分析

トリチウムは、海水・水道水・川水などに H<sub>2</sub>O として存在する自由水型トリチウム、魚の身の中に H<sub>2</sub>O として存在する組織自由型トリチウム、魚の身の中の有機物として存在する有機結合型トリチウムとして存在しています。さまざまな存在形態のトリチウムを測定するには、それぞれ違う方法で前処理をする必要があります。

さまざまなトリチウムの測定が出来るような体制を整え、日々、分析技術の向上に取り組んでいます。

自由水型トリチウム  
【電解濃縮法】  
2020 年 12 月導入



組織自由型トリチウム  
【真空凍結乾燥法】  
2022 年 3 月導入



有機結合型トリチウム  
【石英管燃焼法】  
2022 年 6 月導入



## ○低バックグラウンド液体シンチレーションカウンターLSC-LB8 導入



| 試料の種類 | トリチウムの形態         | 従来の下限值           | LSC-LB8による下限値(見込み) |
|-------|------------------|------------------|--------------------|
| 水     | 自由水型トリチウム(電解濃縮法) | 0.2~0.1 Bq/L程度   | 0.04Bq/L程度         |
| 魚     | 組織自由水型トリチウム      | 1.6Bq/L程度        | 0.4Bq/L程度          |
| 魚     | 有機結合型トリチウム       | 1.5~1.0 Bq/kg乾程度 | 0.2Bq/kg乾程度        |

2023 年 1 月に、多くのみなさまからのご支援のもと、「日立アロカメディカル株式会社 低バックグラウンド液体シンチレーションカウンター LSC-LB8」を新しく導入することができました。この「LSC-LB8」は、100ml 容器を使用することができるため、多くの試料を測定器にかけることができ、トリチウムを測定する際に、従来のたらちねの液体シンチレーションカウンターより下限値を低くすることができる見込みです。

## ○海洋調査(沿岸)

東京電力が 2021 年 11 月に発表した放射性物質の拡散シミュレーションによると、沖合にではなく、陸地に沿って南北に流されていくことが多いという結果になっていました。

そこで、海洋放出された汚染水の行方をより捉えられるように、南北におおむね等距離になるように、計 8 ヶ所の定点を決め、年に 2 回、沿岸で採水して、トリチウムや放射性セシウム、ストロンチウム 90 を測定し、2021 年より沖合調査だけではなく沿岸の調査を継続してきました。

### 【海水採取地点】



沿岸調査海水：2 回

1 回目：2021 年 11 月

2 回目：2022 年 6 月

| 地点名                  | 市町村          | 原発からの距離 |
|----------------------|--------------|---------|
| 相馬港                  | 相馬市原釜大津      | 北約45km  |
| 萱浜,村上海岸              | 南相馬市原町区萱浜,村上 | 北約16km  |
| 請戸港                  | 双葉郡浪江町請戸     | 北約6.5km |
| 双葉海水浴場<br>(マリンハウス双葉) | 双葉郡双葉町       | 北約3.5km |
| 熊川河口付近               | 双葉郡大熊町熊川     | 南約3km   |
| 富岡港                  | 双葉郡富岡町仏浜     | 南約9.5km |
| 岩沢海水浴場<br>(広野火力横)    | 双葉郡楢葉町       | 南約20km  |
| 小名浜港                 | いわき市小名浜      | 南約55km  |

## 海水 Cs-137 測定結果(Bq/L)

|         | 相馬港          | 萱浜海岸         | 請戸港          | 双葉海水浴場       | 熊川河口付近       | 富岡港          | 岩沢海水浴場       | 小名浜港         |
|---------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 2021/11 | 0.007±0.0006 | 0.006±0.0006 | 0.013±0.0007 | 0.019±0.0007 | 0.043±0.001  | 0.021±0.0008 | 0.011±0.0006 | 0.005±0.0006 |
|         | 相馬港          | 村上海岸         | 請戸港          | 双葉海水浴場       | 熊川河口付近       | 富岡港          | 岩沢海水浴場       | 小名浜港         |
| 2022/6  | 0.006±0.0006 | 0.009±0.0006 | 0.017±0.0007 | 0.071±0.001  | 0.024±0.0008 | 0.011±0.0006 | 0.016±0.0007 | 0.004±0.0005 |

## 海水 Sr-90 測定結果(Bq/L)

|         | 相馬港       | 萱浜海岸      | 請戸港           | 双葉海水浴場        | 熊川河口付近    | 富岡港           | 岩沢海水浴場        | 小名浜港      |
|---------|-----------|-----------|---------------|---------------|-----------|---------------|---------------|-----------|
| 2021/11 | ND<0.0007 | ND<0.0006 | ND<0.0007     | ND<0.0007     | ND<0.0007 | 0.0007±0.0004 | ND<0.0006     | ND<0.0007 |
|         | 相馬港       | 村上海岸      | 請戸港           | 双葉海水浴場        | 熊川河口付近    | 富岡港           | 岩沢海水浴場        | 小名浜港      |
| 2022/6  | ND<0.0007 | ND<0.0006 | 0.0016±0.0005 | 0.0016±0.0005 | ND<0.0008 | ND<0.0007     | 0.0012±0.0005 | ND<0.0007 |

## 海水 H3 測定結果(Bq/L)

|         | 相馬港     | 萱浜海岸    | 請戸港     | 双葉海水浴場  | 熊川河口付近  | 富岡港     | 岩沢海水浴場  | 小名浜港    |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 2021/11 | ND<0.19 | ND<0.20 | ND<0.20 | ND<0.19 | ND<0.19 | ND<0.19 | ND<0.19 | ND<0.19 |

季節ごとの海流の影響や、別の要因があるのか、測定を継続していくことで見えてくることではないかと考えられ、今後も継続して調査を続けていきます。

## ○海洋調査結果(沖合)

沖合の海洋調査は東京電力敷地内の陸から半径 1.5km より外側の海域の A～C の地点でサンプリングを行っていましたが、海洋放出のトンネル側である地点 D を新たに増やしました。



2022 年度 沖合調査回数 4 回

第 29 回 2022 年 4 月 25 日  
第一原発沖

第 30 回 2022 年 5 月 10 日  
第一原発沖・富岡港

第 32 回 2022 年 8 月 24 日  
第一原発沖・富岡港

第 33 回 2022 年 11 月 9 日  
第一原発沖・富岡港



測定結果の単位： Bq/L

| 第30回海洋調査<br>海水測定結果 |        | セシウム137      |        | セシウム134 |        | 自由水型トリチウム |       | ストロンチウム90 |        |
|--------------------|--------|--------------|--------|---------|--------|-----------|-------|-----------|--------|
|                    |        | 測定結果         | 検出下限値  | 測定結果    | 検出下限値  | 測定結果      | 検出下限値 | 測定結果      | 検出下限値  |
| 福島第一原発<br>1.5km沖   | A地点 表層 | 0.003±0.0005 | 0.001  | ND      | 0.0009 | ND        | 0.11  | ND        | 0.0007 |
|                    | A地点 下層 | 0.004±0.0005 | 0.001  | ND      | 0.001  | ND        | 0.11  | 欠測        |        |
|                    | B地点 表層 | 0.003±0.0005 | 0.001  | ND      | 0.001  | ND        | 0.11  | ND        | 0.0008 |
|                    | B地点 下層 | 0.003±0.0005 | 0.0009 | ND      | 0.001  | ND        | 0.12  | 0.0001    | 0.0007 |
|                    | C地点 表層 | 0.004±0.0005 | 0.0009 | ND      | 0.001  | ND        | 0.11  | ND        | 0.0007 |
|                    | C地点 下層 | 0.003±0.0005 | 0.0009 | ND      | 0.001  | ND        | 0.11  | ND        | 0.0007 |
|                    | D地点 表層 | 0.006±0.0005 | 0.0009 | ND      | 0.001  | ND        | 0.11  | ND        | 0.0009 |
|                    | D地点 下層 | 0.003±0.0005 | 0.0009 | ND      | 0.001  | ND        | 0.12  | ND        | 0.0009 |

測定結果の単位： セシウム Bq/kg 生、ストロンチウム 90→Bq/kg 乾

| 魚 測定結果  |       | セシウム137  |       | セシウム134 |       | ストロンチウム90 |       |
|---------|-------|----------|-------|---------|-------|-----------|-------|
|         |       | 測定結果     | 検出下限値 | 測定結果    | 検出下限値 | 測定結果      | 検出下限値 |
| シロメバル   | No.1  | 0.6±0.1  | 0.2   | ND      | 0.2   | —         |       |
| シロメバル   | No.2  | 1.4±0.1  | 0.3   | ND      | 0.3   | —         |       |
| シロメバル   | No.3  | 0.7±0.1  | 0.2   | ND      | 0.2   | —         |       |
| シロメバル   | No.4  | 0.6±0.1  | 0.2   | ND      | 0.2   | —         |       |
| シロメバル   | No.5  | 0.6±0.1  | 0.1   | ND      | 0.1   | 1.47±0.71 | 1.07  |
| マサバ     | No.6  | 0.2±0.1  | 0.1   | ND      | 0.1   | ND        | 0.4   |
| アイナメ    | No.7  | 0.4±0.1  | 0.2   | ND      | 0.2   | —         |       |
| アイナメ    | No.8  | 0.8±0.1  | 0.2   | ND      | 0.2   | 0.31±0.08 | 0.11  |
| キツネメバル  | No.9  | 2.1±0.1  | 0.1   | ND      | 0.2   | ND        | 0.12  |
| エゾメバル   | No.10 | ND       | 0.3   | ND      | 0.3   | —         |       |
| トゴットメバル | No.11 | 0.8±0.08 | 0.1   | ND      | 0.1   | —         |       |

※ND(不検出)は、放射性物質が全く存在しないことを意味するのではなく、測定値が検出下限値未満であることを示します。

○湖水調査(檜原湖・霞ヶ浦)

昨年度に引き続き、猪苗代湖の湖水調査を行いました。また、新たに霞ヶ浦でのサンプリングも行い、測定値の比較も行いました。海と比べて、汚染が広がらず、放射性物質が残り続ける可能性があることから、今後も定期的に調査を行っていきたいと思います。

2022 年 10 月 6 日 【檜原湖】

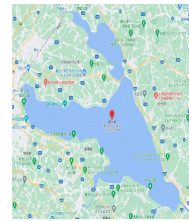
| 【10月6日檜原湖】         | 湖水 表層         |        | 湖水 下層         |        |             |     |             |     |             |     |             |     |
|--------------------|---------------|--------|---------------|--------|-------------|-----|-------------|-----|-------------|-----|-------------|-----|
|                    | 測定値           | 下限値    | 測定値           | 下限値    |             |     |             |     |             |     |             |     |
| セシウム137 (Bq/L)     | 0.004±0.0005  | 0.001  | 0.016±0.001   | 0.001  |             |     |             |     |             |     |             |     |
| セシウム134            | ND            | 0.001  | ND            | 0.001  |             |     |             |     |             |     |             |     |
| 自由水型トリチウム (Bq/L)   | 測定中           |        | 測定中           |        |             |     |             |     |             |     |             |     |
| ストロンチウム90 (Bq/L)   | 0.0009±0.0005 | 0.0008 | 0.0007±0.0003 | 0.0005 |             |     |             |     |             |     |             |     |
| 【湖砂 測定結果】          | 湖底土 0-5cm     |        | 湖底土 5-10cm    |        | 湖底土 10-15cm |     | 湖底土 15-20cm |     | 湖底土 20-25cm |     | 湖底土 25-30cm |     |
|                    | 測定値           | 下限値    | 測定値           | 下限値    | 測定値         | 下限値 | 測定値         | 下限値 | 測定値         | 下限値 | 測定値         | 下限値 |
| セシウム137 (Bq/kg乾)   | 878.6±3.2     | 1.0    | 1486.4±4.1    | 1.0    | 957.1±3.1   | 0.9 | 119.5±1.2   | 0.8 | 73.6±1      | 0.9 | 35.1±0.8    | 0.9 |
| セシウム134            | 24.8±0.7      | 1.0    | 39.9±0.8      | 1.0    | 26.3±0.4    | 0.9 | 2.1±0.4     | 0.7 | ND          | 0.7 | ND          | 0.9 |
| ストロンチウム90 (Bq/kg乾) | 3.34±1.22     | 1.81   | 測定中           |        | 測定中         |     | —           |     | —           |     | —           |     |

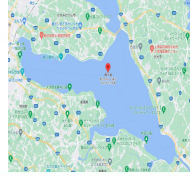


※ND(不検出)は、放射性物質が全く存在しないことを意味するのではなく、測定値が検出下限値未満であることを示します。



2022 年 10 月 13 日【霞ヶ浦】



| 【10月13日霞ヶ浦】        | 湖水A 表層        |        | 湖水A 下層        |        | 湖水B 下層        |        |  |  |  |     |             |     |
|--------------------|---------------|--------|---------------|--------|---------------|--------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----|-------------|-----|
|                    | 測定値           | 下限値    | 測定値           | 下限値    | 測定値           | 下限値    |                                                                                    |                                                                                     |                                                                                     |     |             |     |
| セシウム137 (Bq/L)     | 0.007±0.0006  | 0.001  | 0.007±0.0004  | 0.0009 | 0.006±0.0006  | 0.001  |                                                                                    |                                                                                     |                                                                                     |     |             |     |
| セシウム134            | ND            | 0.001  | ND            | 0.001  | ND            | 0.001  |                                                                                    |                                                                                     |                                                                                     |     |             |     |
| 自由水型トリチウム (Bq/L)   | 測定中           |        | 測定中           |        | 測定中           |        |                                                                                    |                                                                                     |                                                                                     |     |             |     |
| ストロンチウム90 (Bq/L)   | 0.0014±0.0003 | 0.0005 | 0.0009±0.0004 | 0.0006 | 0.0009±0.0004 | 0.0006 |                                                                                    |                                                                                     |                                                                                     |     |             |     |
| 【湖砂A 測定結果】         | 湖底土 0-5cm     |        | 湖底土 5-10cm    |        | 湖底土 10-15cm   |        | 湖底土 15-20cm                                                                        |                                                                                     | 湖底土 20-25cm                                                                         |     | 湖底土 25-30cm |     |
|                    | 測定値           | 下限値    | 測定値           | 下限値    | 測定値           | 下限値    | 測定値                                                                                | 下限値                                                                                 | 測定値                                                                                 | 下限値 | 測定値         | 下限値 |
| セシウム137 (Bq/kg乾)   | 263.9±3.4     | 1.7    | 288.3±1.9     | 0.8    | 321±3.8       | 1.6    | 179.8±1.6                                                                          | 0.8                                                                                 | 59.4±0.4                                                                            | 0.3 | 28.3±0.7    | 0.8 |
| セシウム134            | 6.9±0.7       | 1.8    | 8.3±0.3       | 0.9    | 8.3±0.9       | 1.6    | 4.8±0.5                                                                            | 0.8                                                                                 | 1.2±0.1                                                                             | 0.3 | ND          | 0.7 |
| ストロンチウム90 (Bq/kg乾) | 測定中           |        | 測定中           |        | 測定中           |        |                                                                                    |                                                                                     |                                                                                     |     |             |     |
| 【湖砂B 測定結果】         | 湖底土 0-5cm     |        | 湖底土 5-10cm    |        | 湖底土 10-15cm   |        | 湖底土 15-20cm                                                                        |                                                                                     | 湖底土 20-25cm                                                                         |     | 湖底土 25-30cm |     |
|                    | 測定値           | 下限値    | 測定値           | 下限値    | 測定値           | 下限値    | 測定値                                                                                | 下限値                                                                                 | 測定値                                                                                 | 下限値 | 測定値         | 下限値 |
| セシウム137 (Bq/kg乾)   | 143.1±2.7     | 1.6    | 115.7±2.4     | 1.6    | 32.3±0.3      | 0.4    | 10.5±0.4                                                                           | 0.8                                                                                 | 4.0±0.4                                                                             | 0.8 | ND          | 0.9 |
| セシウム134            | 4.8±0.8       | 1.5    | 3.9±0.8       | 1.5    | 0.5±0.2       | 0.4    | ND                                                                                 | 0.8                                                                                 | ND                                                                                  | 0.8 | ND          | 0.9 |
| ストロンチウム90 (Bq/kg乾) | 測定中           |        | 測定中           |        | 測定中           |        | —                                                                                  |                                                                                     | —                                                                                   |     | —           |     |

※ND(不検出)は、放射性物質が全く存在しないことを意味するのではなく、測定値が検出下限値未満であることを示します。

- ・2022 年もたらちねでは、年 4 回の海洋調査、年 2 回の沿岸調査、湖水調査など、さまざまな環境調査を行いました。
- ・4 月には福島第一原子力発電所の汚染水放出に関する環境モニタリングの官民連携の要望書を提出し、海洋調査のデータをいわき市に提出することとなりました。
- ・9 月には日本水産学会で、汚染水海洋放出による環境影響調査についての発表を東京大学教授の鈴木譲先生と共同発表をしました。
- ・2023 年 3 月 第 24 回環境放射能研究会に参加し、福島県双葉郡大熊町の環境放射能調査について発表をしました。

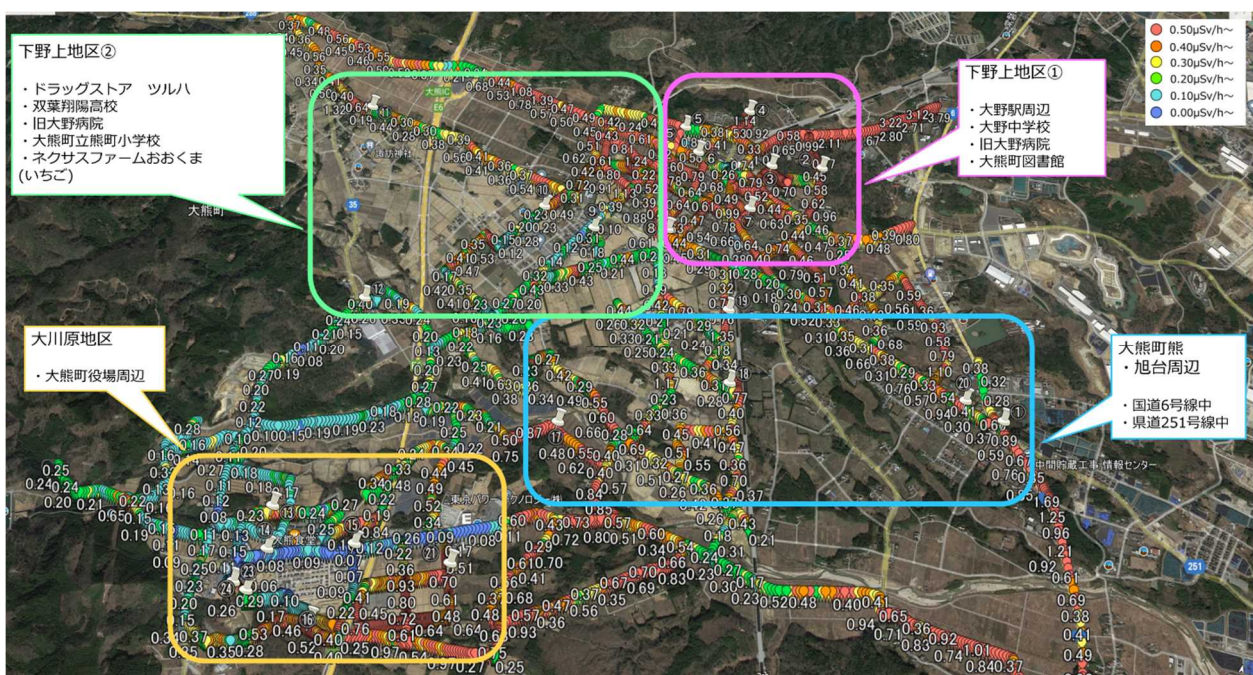
## ○福島県双葉郡大熊町の環境放射能調査

2022 年 6 月に、大熊町内で帰還困難区域とされていた区域のうち、特定復興再生拠点区域と指定された 860ha の避難指示が解除されました。すでに居住をしている方もおられますし、現在、産業施設の整備・準備などが急ピッチで進められており、すでに避難指示が解除されていた大熊町大川原地区に、0 歳から 15 歳の子どもたちが通う、認定こども園と小中学校が一体となった「学び舎ゆめの森」の新校舎が 2023 年夏に開校する予定です。

(2023 年 4 月から、子どもたちは新校舎開校まで、大熊町内の別の施設で学んでいます。)

避難指示解除の要件は、被ばく線量「年間 20mSv」を下回ることとされました。

空間線量だけではなく、内部被ばくに影響しうる、土壌等の放射能濃度について、それに基づく除染がなされているかの懸念もあり調査を行いました。



大熊町を、大川原地区・下野上地区①・下野上地区②・大熊町熊周辺の 4 エリアに分けて測定を行いました。

ホットスポットファインダーを使用した地上 1m の空間線量の測定と大熊町内 24 カ所の土壌を採取し放射性セシウムとストロンチウム 90(12 カ所)の測定しました。

なお、調査地点は雨樋の下などのような特別なホットスポットや、人がなかなか立ち入らない森の奥などではなく、子どもたちが生活の中で、歩行・滞在する可能性の十分ある、道路脇の土や植え込みなどとなりました。

【測定結果一覧】

| 地区     | 地点            | 空間線量率<br>( $\mu\text{Sv/h}$ ) | セシウム<br>137+134合算<br>(Bq/kg) | ストロンチウム90<br>(Bq/kg) |
|--------|---------------|-------------------------------|------------------------------|----------------------|
| 大川原地区  | 大川原南平の林       | 1.00                          | 11,529                       | —                    |
|        | 大熊郵便局近く       | 0.31                          | 3,773                        | —                    |
|        | 大川原南平のゴミ捨て場近く | 0.13                          | 191                          | —                    |
|        | 学び舎ゆめの森の裏山    | 4.29                          | 200,818                      | 23.22                |
|        | 大川原南平の田んぼ北側   | 2.55                          | 32,451                       | 7.87                 |
|        | 大川原南平の田んぼ南側   | 6.23                          | 63,728                       | 8.59                 |
|        | 大熊町役場裏        | 1.07                          | 15,440                       | —                    |
|        | 大熊町役場南東の森     | 1.35                          | 19,644                       | 6.37                 |
| 下野上地区① | 旧大野中学校向い      | 2.96                          | 27,795                       | —                    |
|        | 聖徳太子堂前        | 2.75                          | 49,524                       | 2.66                 |
|        | 旧大野病院北側坂途中    | 4.18                          | 3,384                        | —                    |
|        | 旧大野病院西側       | 3.04                          | 47,710                       | 5.41                 |
|        | 旧大野病院南側       | 1.04                          | 6,985                        | —                    |
|        | 大熊図書館前の植え込み   | 2.44                          | 101,372                      | 11.74                |
|        | ツルハドラッグ前      | 2.22                          | 56,620                       | 5.19                 |
| 下野上地区② | 双葉翔洋高校近く      | 0.74                          | 10,981                       | —                    |
|        | 旧大野小学校近く      | 2.70                          | 23,742                       | ND(<1.51)            |
|        | 下野上 新築ガレージ近く  | 1.83                          | 24,206                       | 2.73                 |
|        | いちご工場近く       | 0.39                          | 8,792                        | —                    |
| 大熊町熊周辺 | 国道6号線中貯センター近く | 3.85                          | 57,460                       | 7.04                 |
|        | 東京パワーテクノロジー裏山 | 2.21                          | 8,874                        | —                    |
|        | 旭台積水ハイム横      | 1.15                          | 4,354                        | —                    |
|        | 常磐線西側 旭台民家横   | 1.23                          | 19,477                       | —                    |
|        | 県道251線 畑の横    | 5.00                          | 150,490                      | 20.82                |

土壌の放射性セシウムは、24ヶ所中、19ヶ所で 8,000Bq/kg を上回り、うち 6ヶ所で 50,000Bq/kg を超えました。

さらに、3ヶ所では 100,000Bq/kg を超え、最高値は、大川原地区の「学び舎ゆめの森」の建設予定地の裏山で 200,818Bq/kg でした。

ストロンチウム 90 の測定結果を見ると、最も高かったのは、放射性セシウムも高かった学び舎ゆめの森の裏山で、23.22Bq/kg。

以下、20.82Bq/kg、11.78Bq/kg、8.59Bq/kg。高い方から 4 件までは、放射性セシウムの値が高かった順に、ストロンチウム 90 も高い値となっていました。

一方で、地表面の空間線量率では、24ヶ所中、5ヶ所が毎時 3.8 $\mu\text{Sv}$  を上回りました。走行サーベイではこうした地点を発見できませんでした。

子どもが通学や遊びなどで普通に通過・滞在しうる場所ですら、数万～数十万 Bq/kg の汚染土壌がいまだに残留していることがわかりました。

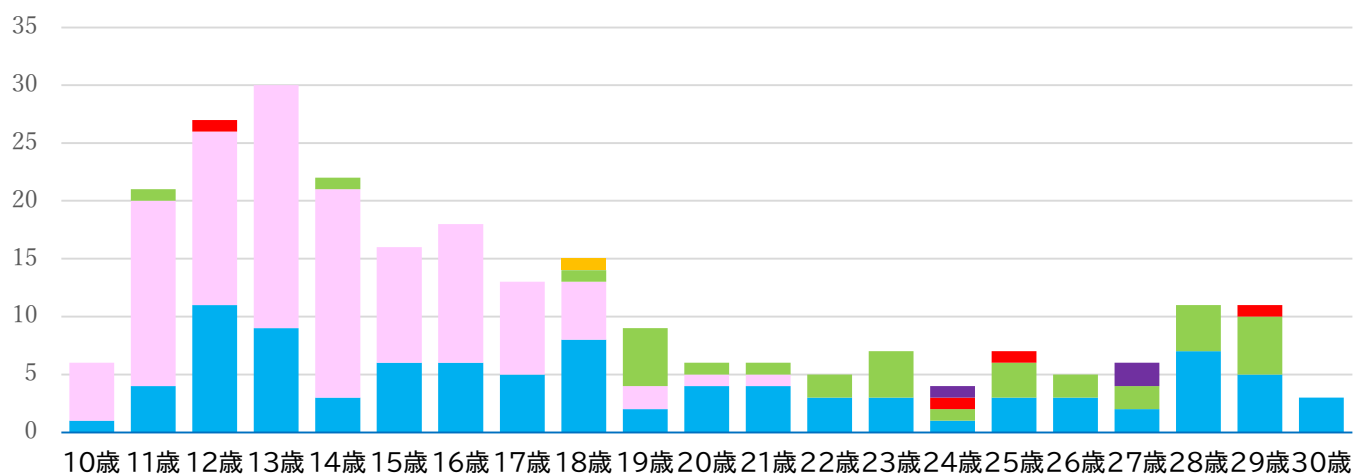


## 【甲状腺検診事業】

2022 年 4 月～2023 年 3 月出張甲状腺検診の結果、福島県浜通りが 123 人、福島県中通り 109 人、福島県外で宮城県南部が 77 人、山形県米沢市 24 人、茨城県北茨城市と高萩市で 117 人、東京都 64 人で計 22 回行い合計 543 人の方が出張甲状腺検診においでになりました。新型コロナウイルス感染症患者も減少傾向にあり、新聞の折込広告を入れて周知をしたためか初めてたらちねの甲状腺検診を受けに来た方が多くみられました。

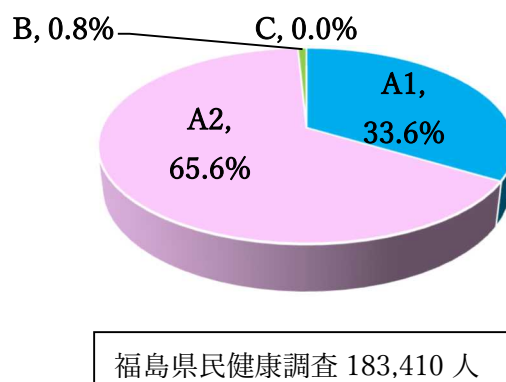
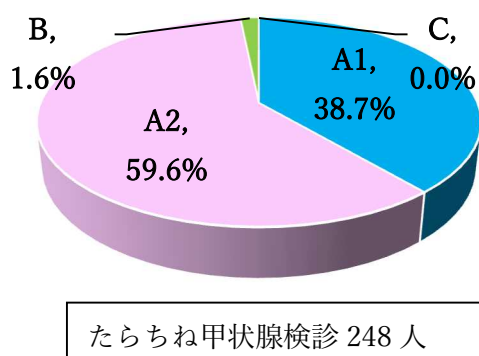
## ○年齢別検診結果

受検者 1992 年 4 月 2 日～2012 年 4 月 1 日生まれ 合計 248 人



- |        |                             |        |                |
|--------|-----------------------------|--------|----------------|
| ■ A1   | のう胞、結節が認められない               | ■ A2-a | 発育期の過程で発生するのう胞 |
| ■ A2-b | 発育期の反応ではないのう胞               | ■ A2-c | 結節 1 mm～5 mm   |
| ■ B    | 結節 5.1 mm 以上、のう胞 20.1 mm 以上 | ■ C    | 二次検査を要するもの     |
| ■ その他  | のう胞、結節は無いが甲状腺に異常が認められる      |        |                |

## ○福島健康診査との比較図



出典  
県民健康調査「甲状腺通信 19 号」  
令和 5 年 2 月現在

## 【クリニック事業】

2022 年度も新型コロナウイルス感染は収まらず、悪戦苦闘の毎日でした。

- ・発熱で来院された方の検査は駐車場の車内で行う。
- ・一般の方々との接触を避けるための導線を確保する。
- ・発熱や風邪症状のある患者さんの診察は別室で行い、診察室や待合室、階段や廊下の消毒を徹底する。

などの感染対策を行いながら、できるだけ多くの方々の受け入れに努めてきました。

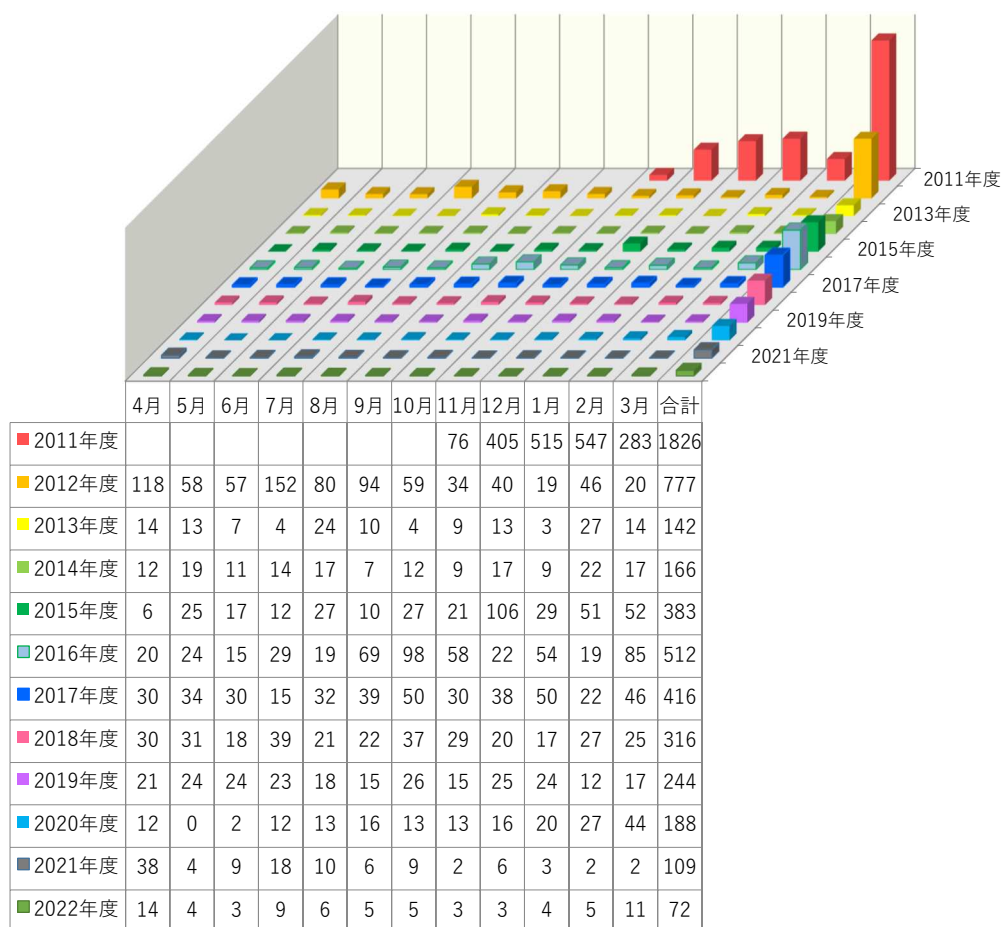
2021 年 3 月からこどもドックの対象年齢を『受検時年齢 18 歳以下』から『原発事故当時 18 歳以下』に変更し、検査の結果を本人のものとして残す『こどもドック手帳』の配布も継続してきました。

また、2020 年度から始めた、双葉郡と近隣に居住している方・就労している方を対象とした、無料の健康診断を 2022 年度も継続して行いました。

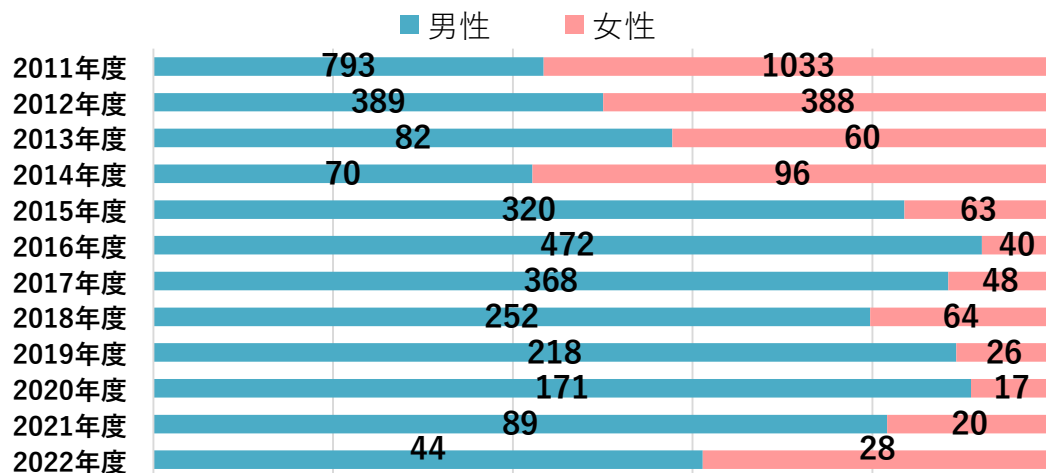
子どもたちが健康に生活していく環境が整っているとは思えない地域への帰還政策が推し進められる中、長期的に人々の健康状態を見守っていく必要があります。原発事故から 12 年が経過し、当時のこどもたちは成人し、子を持つ親になっている方もいます。今後も幅広い世代の皆さんの健康を見守り続けていきたいと思います。

## ○ホールボディーカウンター受検者数

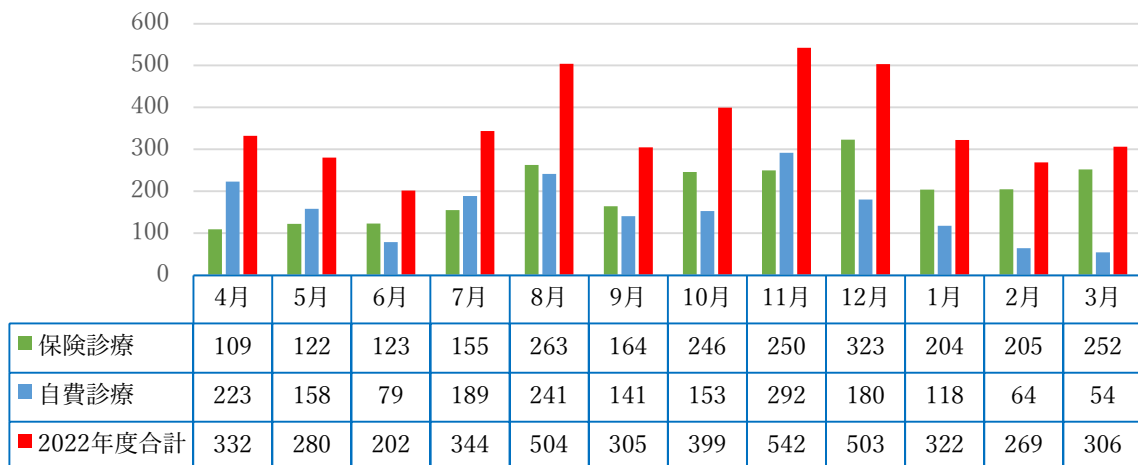
- ・総受検者数 5,151 人



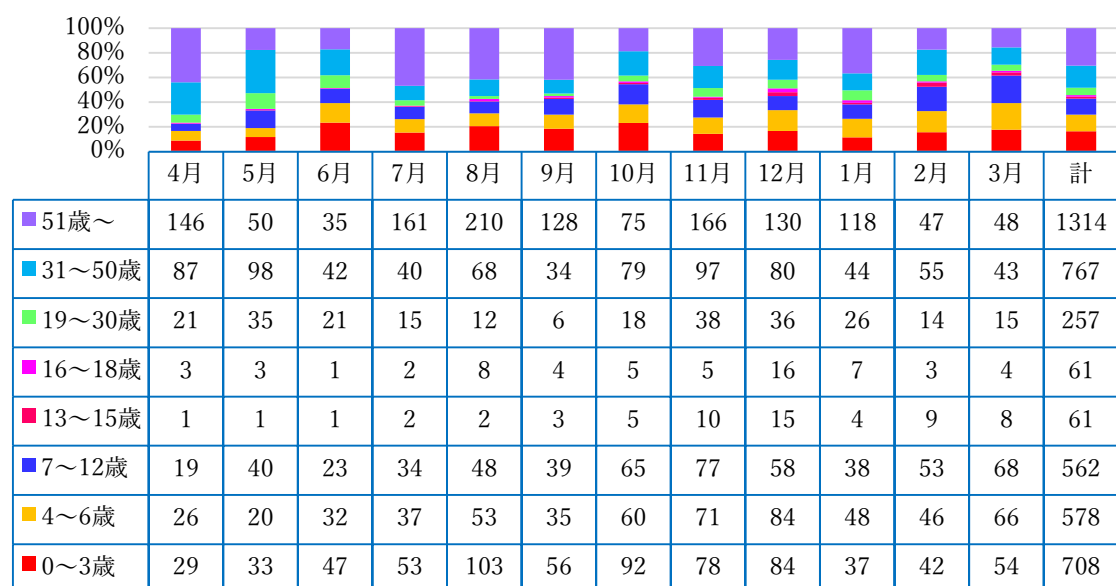
○ホールボディーカウンター受検者内訳



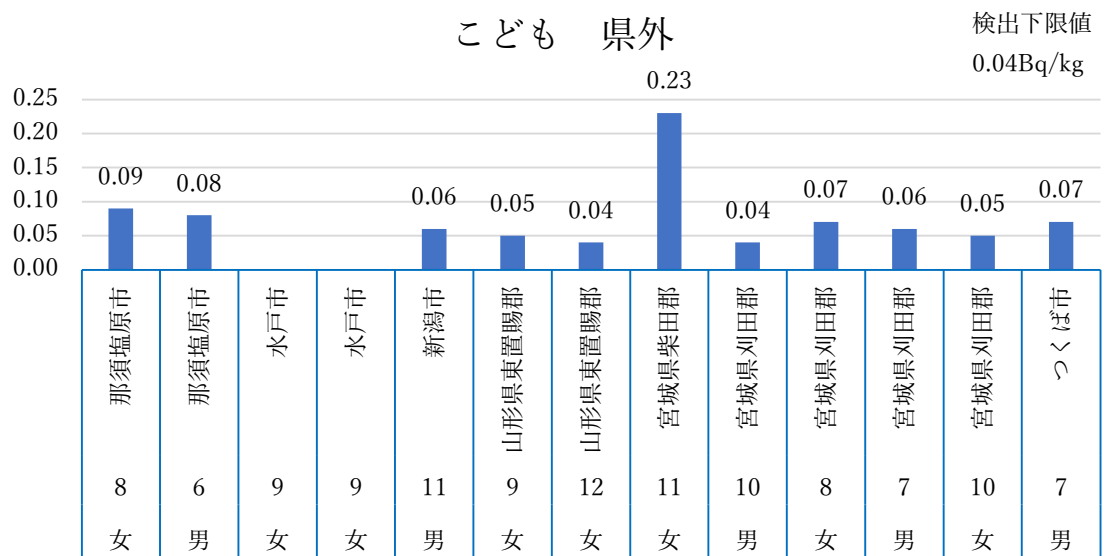
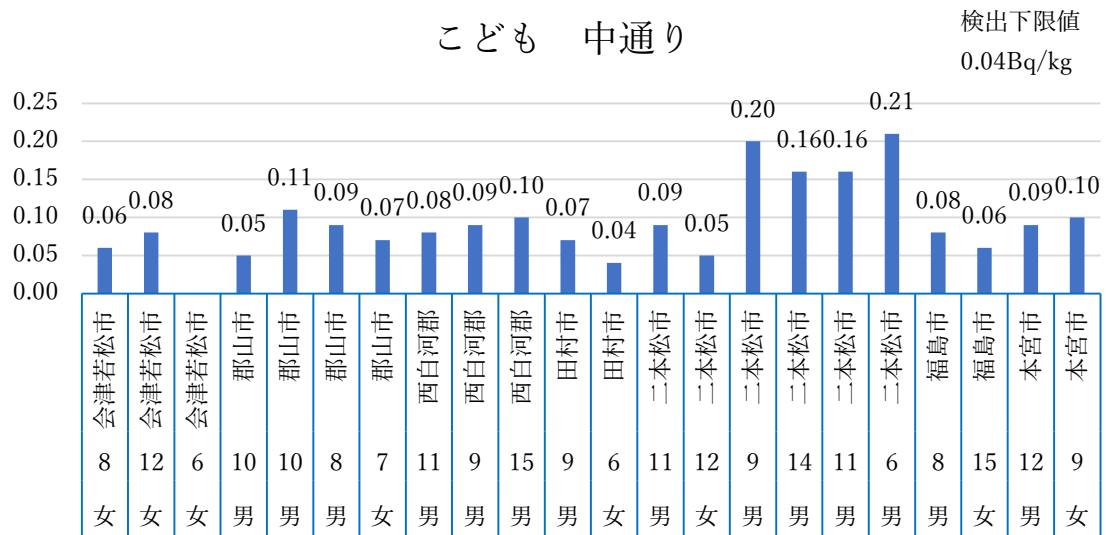
○患者利用数



○年齢別・月別患者数の割合



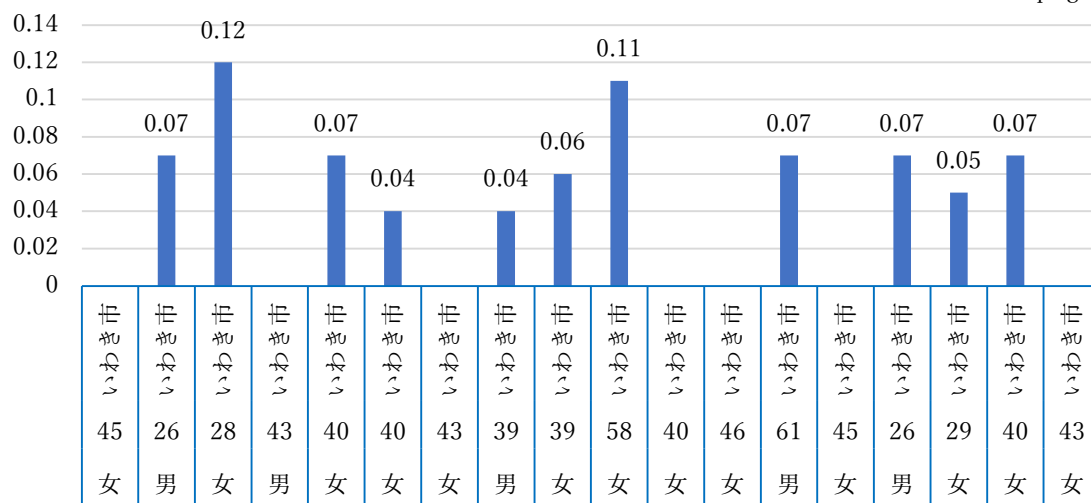
○尿中セシウム測定





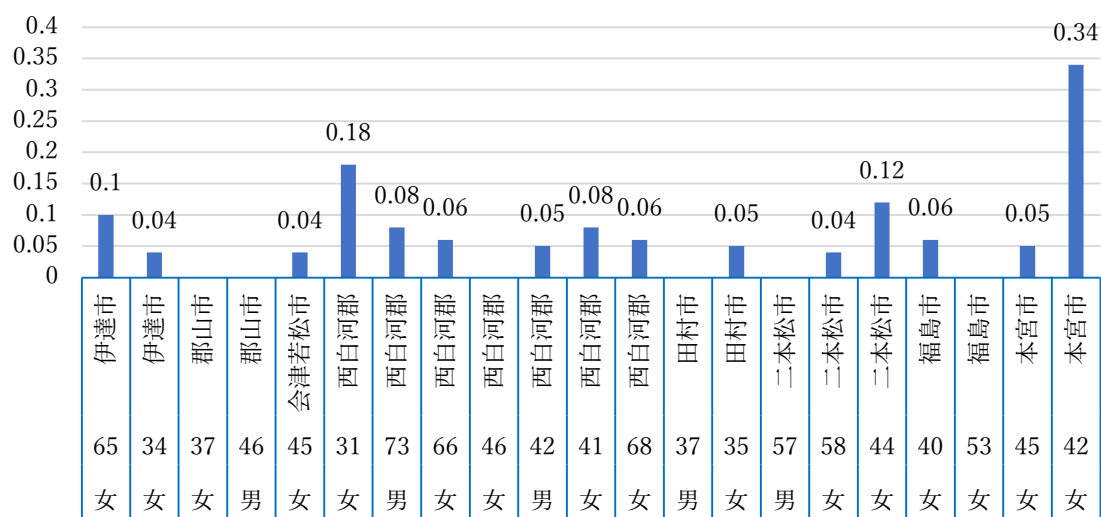
## おとな 浜通り

検出下限値  
0.04Bq/kg



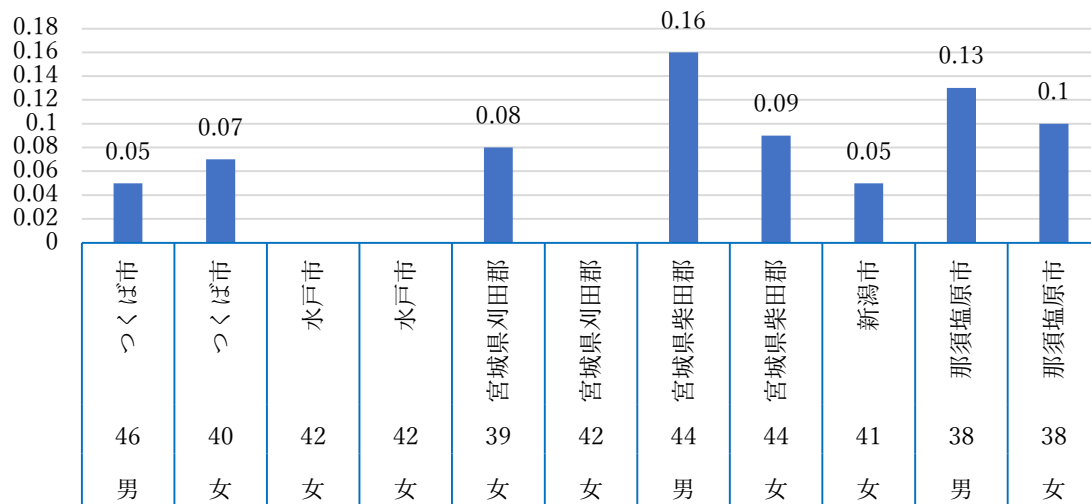
## おとな 中通り

検出下限値  
0.04Bq/kg



## おとな 県外

検出下限値  
0.04Bq/kg



## ○無料健康診断の案内

無料健康診断は一般財団法人ふくしま百年基金の「被災者の心の健康を守る福島支援事業」による支援でまかなわれています。



下記の項目を無料で受けることができます！  
希望の項目のみも検査可能です

対象者：双葉郡やその近隣でお仕事をされている方  
双葉郡に現在居住している方、及び居住していた方

ご不明な点がございましたらお気軽にご相談ください

| 検査項目             | 参考料金                                                                |
|------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 診療               | 内科診療                                                                |
| 甲状腺超音波(エコー)検査    | のう胞や結節などの有無を調べます<br>-3,500円-                                        |
| ホールボディカウンター(WBC) | 全身の放射能測定(5-15分間)<br>-1,000円-                                        |
| 尿中セシウム測定         | 自宅での2名の蓄尿が必要です<br>タリウムと専用のキットをお渡しします<br>-4,000円-                    |
| 身体計測・生理学的検査      | 身長、体重、視力、聴力、血圧                                                      |
| 血液検査             | 一般的な血液検査項目<br>(肝臓、腎臓、貧血、炎症反応)<br>などに加えて<br>甲状腺ホルモンも調べます<br>-5,260円- |
| 尿一般検査            | 比重、PH、蛋白、糖<br>ワロビリメーゲン、潜血                                           |
| 胸部レントゲン          | -2,100円-                                                            |
| 心電図              | -1,300円-                                                            |

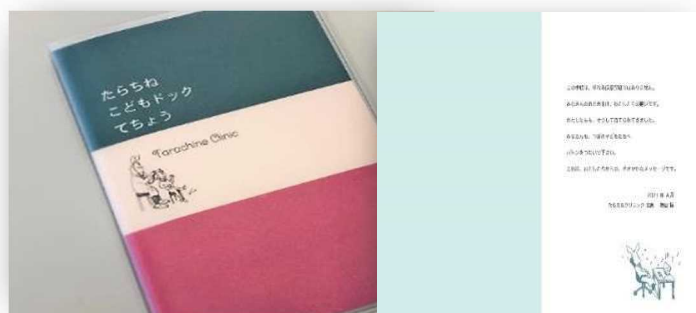
たらちねクリニック  
Mothers' Radiation Lab & Clinic Fukushima  
〒971-8162 いわき市小浜花畑町11-3 カネマンビル3階  
認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちね 代表  
TEL 0246-38-8031 FAX 0246-38-8322  
メール tobiwase@tarachineclinic.org

この機会にぜひ受けてみませんか？

## ○クリニック利用者の声

- ・発熱外来でお世話になりました。他の病院を何十件も断られた時に受け入れてくれました。電話した時も検査の時も結果説明の時も丁寧に対応していただき本当に感謝しています。おかげで子どもも元気になりました。ありがとうございました。(30代女性)
- ・発熱のため車内での検査でした。雨の中、先生や看護師さん受付の方が、傘をささずに対応してくれました。こちらが傘をさしてあげたくなりました。本当にありがとうございました。(30代女性)
- ・無料の健康診断とても助かります。社員の健康を守るためにも、引き続き利用させていただきます。(50代男性)
- ・除染作業をしている自分の健康をこんなに気にかけてもらえて、普段から食事や洗濯物を意識するようになりました。(60代男性)
- ・孫の受診ついでに私の診察もしてもらえて、これから、たらちねさんをお願いしたいです。(60代女性)

## ○こどもドック手帳



| 月  | 日   | 症状 | 経過    | 検査結果 |
|----|-----|----|-------|------|
| 1月 | 1日  | 発熱 | 38.5℃ | 血液検査 |
| 1月 | 2日  | 発熱 | 38.0℃ | 血液検査 |
| 1月 | 3日  | 発熱 | 37.5℃ | 血液検査 |
| 1月 | 4日  | 発熱 | 37.0℃ | 血液検査 |
| 1月 | 5日  | 発熱 | 36.5℃ | 血液検査 |
| 1月 | 6日  | 発熱 | 36.0℃ | 血液検査 |
| 1月 | 7日  | 発熱 | 35.5℃ | 血液検査 |
| 1月 | 8日  | 発熱 | 35.0℃ | 血液検査 |
| 1月 | 9日  | 発熱 | 34.5℃ | 血液検査 |
| 1月 | 10日 | 発熱 | 34.0℃ | 血液検査 |
| 1月 | 11日 | 発熱 | 33.5℃ | 血液検査 |
| 1月 | 12日 | 発熱 | 33.0℃ | 血液検査 |
| 1月 | 13日 | 発熱 | 32.5℃ | 血液検査 |
| 1月 | 14日 | 発熱 | 32.0℃ | 血液検査 |
| 1月 | 15日 | 発熱 | 31.5℃ | 血液検査 |
| 1月 | 16日 | 発熱 | 31.0℃ | 血液検査 |
| 1月 | 17日 | 発熱 | 30.5℃ | 血液検査 |
| 1月 | 18日 | 発熱 | 30.0℃ | 血液検査 |
| 1月 | 19日 | 発熱 | 29.5℃ | 血液検査 |
| 1月 | 20日 | 発熱 | 29.0℃ | 血液検査 |
| 1月 | 21日 | 発熱 | 28.5℃ | 血液検査 |
| 1月 | 22日 | 発熱 | 28.0℃ | 血液検査 |
| 1月 | 23日 | 発熱 | 27.5℃ | 血液検査 |
| 1月 | 24日 | 発熱 | 27.0℃ | 血液検査 |
| 1月 | 25日 | 発熱 | 26.5℃ | 血液検査 |
| 1月 | 26日 | 発熱 | 26.0℃ | 血液検査 |
| 1月 | 27日 | 発熱 | 25.5℃ | 血液検査 |
| 1月 | 28日 | 発熱 | 25.0℃ | 血液検査 |
| 1月 | 29日 | 発熱 | 24.5℃ | 血液検査 |
| 1月 | 30日 | 発熱 | 24.0℃ | 血液検査 |
| 1月 | 31日 | 発熱 | 23.5℃ | 血液検査 |
| 2月 | 1日  | 発熱 | 23.0℃ | 血液検査 |
| 2月 | 2日  | 発熱 | 22.5℃ | 血液検査 |
| 2月 | 3日  | 発熱 | 22.0℃ | 血液検査 |
| 2月 | 4日  | 発熱 | 21.5℃ | 血液検査 |
| 2月 | 5日  | 発熱 | 21.0℃ | 血液検査 |
| 2月 | 6日  | 発熱 | 20.5℃ | 血液検査 |
| 2月 | 7日  | 発熱 | 20.0℃ | 血液検査 |
| 2月 | 8日  | 発熱 | 19.5℃ | 血液検査 |
| 2月 | 9日  | 発熱 | 19.0℃ | 血液検査 |
| 2月 | 10日 | 発熱 | 18.5℃ | 血液検査 |
| 2月 | 11日 | 発熱 | 18.0℃ | 血液検査 |
| 2月 | 12日 | 発熱 | 17.5℃ | 血液検査 |
| 2月 | 13日 | 発熱 | 17.0℃ | 血液検査 |
| 2月 | 14日 | 発熱 | 16.5℃ | 血液検査 |
| 2月 | 15日 | 発熱 | 16.0℃ | 血液検査 |
| 2月 | 16日 | 発熱 | 15.5℃ | 血液検査 |
| 2月 | 17日 | 発熱 | 15.0℃ | 血液検査 |
| 2月 | 18日 | 発熱 | 14.5℃ | 血液検査 |
| 2月 | 19日 | 発熱 | 14.0℃ | 血液検査 |
| 2月 | 20日 | 発熱 | 13.5℃ | 血液検査 |
| 2月 | 21日 | 発熱 | 13.0℃ | 血液検査 |
| 2月 | 22日 | 発熱 | 12.5℃ | 血液検査 |
| 2月 | 23日 | 発熱 | 12.0℃ | 血液検査 |
| 2月 | 24日 | 発熱 | 11.5℃ | 血液検査 |
| 2月 | 25日 | 発熱 | 11.0℃ | 血液検査 |
| 2月 | 26日 | 発熱 | 10.5℃ | 血液検査 |
| 2月 | 27日 | 発熱 | 10.0℃ | 血液検査 |
| 2月 | 28日 | 発熱 | 9.5℃  | 血液検査 |
| 2月 | 29日 | 発熱 | 9.0℃  | 血液検査 |
| 2月 | 30日 | 発熱 | 8.5℃  | 血液検査 |
| 2月 | 31日 | 発熱 | 8.0℃  | 血液検査 |

## 【保養事業】

2022 年度も、コロナ感染予防の観点から以前のような多人数での保養の実施が難しい状況でした。福島や近隣地域の汚染環境は改善される事はなく、コロナ禍での子ども達の日常生活は制限されることが多く、室内で最低限のひととの接触のみ許されるような窮屈な生活をしている中で、少しでも汚染の少ない地域でリラックスして過ごして欲しいと思い、感染リスクを考慮した上で少人数での保養を開催しました。

現在たらちねでは、沖縄・球美の里、くまべこ子どもを守るママの会、オルト・デイ・ソーニの3団体と提携し、保養の送り出しを行なっています。

### ○沖縄・球美の里（沖縄県久米島）

1 家族限定の少人数保養を続けながら、コロナの感染状況と社会的な状態を加味し徐々に保養人数を増やし、現在は 2,3 家族 10 名前後の受け入れをしています。

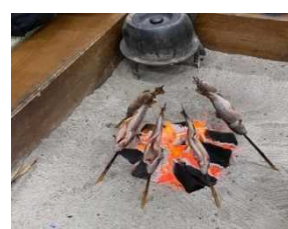
合計 27 回の保養を実施し、子ども 84 名・大人 43 名が参加しました。



### ○くまべこ子どもを守るママの会（南会津只見）

南会津の大自然を感じる環境で、夏と冬に 2 泊 3 日の保養を実施し、子ども 15 名・大人 16 名が参加しました。

川遊びや雪遊びなど普段はできない体験をしました。



### ○オルト・デイ・ソーニ（イタリア）

2019 年からの世界的なコロナウイルス感染症拡大に伴い、保養の実施を見合わせておりましたが、2023 年夏の保養実施に向けて、現在準備を進めています。

福島県双葉郡に現在居住あるいは過去に居住していた方を対象に募集を行い、4 名の方が夏休み約 1 か月間のイタリア転地保養に参加予定です。





## 【あとりえ・たらちね こころのケア事業】

たらちねでは、2018年に子どもたちのこころのケア事業として、あとりえ・たらちねを開設し、今年で5年目となりました。子どもたちを中心に、その家族のサポートも行いながら活動が続けています。

2022年度の活動からみえてきたことは、震災前後に生まれた子どもたちが現在、思春期前期となり、「言葉でどう表現すればよいのかわからない…」という不思議な感情が、こころとからだに湧き出ているケースがみられています。からだがだるく気力がわからない、特にトラブルもないのに学校に行けないなど、心身のシャットダウンを訴えるケースが増えています。あとりえの利用者は、この年代のお子さんが多く、不登校や隠れ不登校状態にある子どもたちがほとんどです。それを見守る母親たちのサポートもより重要になっています。

母親と子どものこころは繋がっています。私たちが経験した、東日本大震災、原発事故と放射能の不安と恐怖は、母親と子どもたちのこころに潜在的な緊張をいまでも与え続けています。

### ○世代を超えて繋がるこころの井戸

たらちねでは、お母さん一人で来ていただき、話をさせていただくお母さん面談に時間をかけてきました。それにより、2022年はお母さんの利用が増えました。

震災から年月が過ぎるとともに、こころのケアは、より重要な位置づけを担っています。

たらちねでは、被災者である私たちが、同じ被災者である地域の人々のこころのケアをしています。同じような苦しい体験をした者同士が、お互いに支え励ましあい、自分たちの経験を言葉にして語っていくことで、お互いにこころを癒していきます。お子さんだけでなく、お母さんも自分の居場所がある、と感ずることが大切です。わたしたちは、お子さん・お母さんたちの「居場所」として、みなさんの笑顔がひろがるように共に歩んできた1年でした。

### ○イベント

出張「ママカフェ」では、お母さんたちと気兼ねなくお話を楽しみました。また、お母さん同士が、同じような悩みを吐き出すことによる心身のリフレッシュ効果を感じました。

今年度より双葉郡の方々を含めた「たらちねお話会」では、大熊町出身の講師を招き、幅広い世代の方々と交流をしました。ふるさとの歴史などを懐かしみながら、それぞれに貴重な時間を過ごすことが出来ました。

### ○利用状況

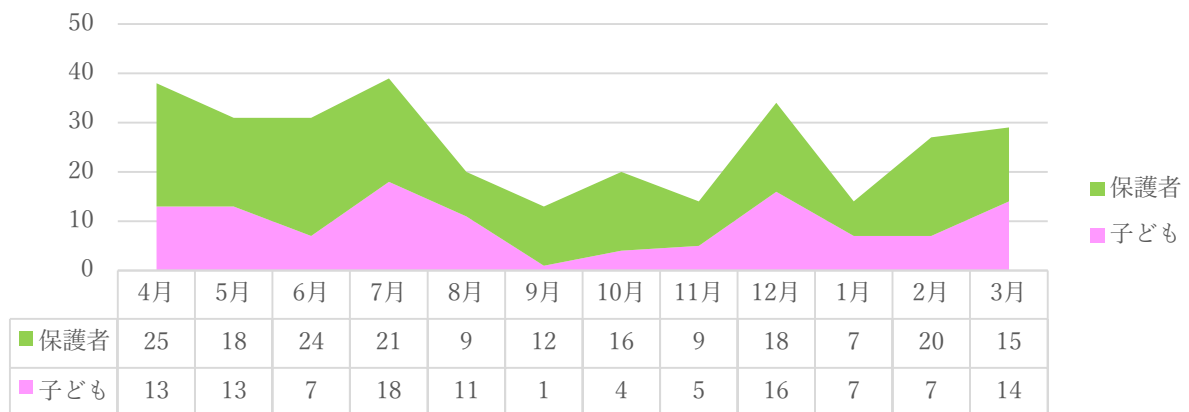
たらちねでは、移動手段がない方などを対象にした送迎（アウトリーチ）を始めました。これは、ケアが必要であるにもかかわらず届いていない人に対して、積極的に働きかけてケアをするためです。それにより、不登校や隠れ不登校状態の子どもへの居場所を提供することができました。また、去年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大に翻弄された1年でしたが、メールや電話による対応、zoomによる面談も駆使し、お母さんたちを支える活動も続けました。



本資料の無断転載・複写を禁じます

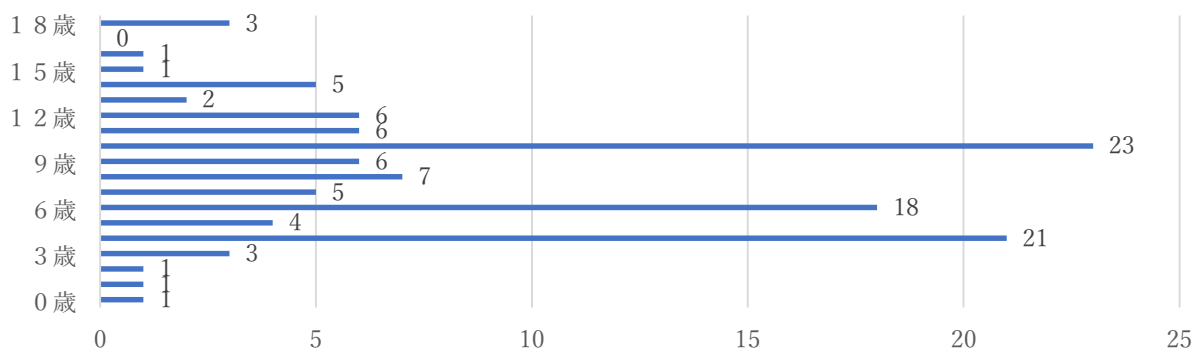
○子どもと保護者の利用状況

あとりえたらちね利用者



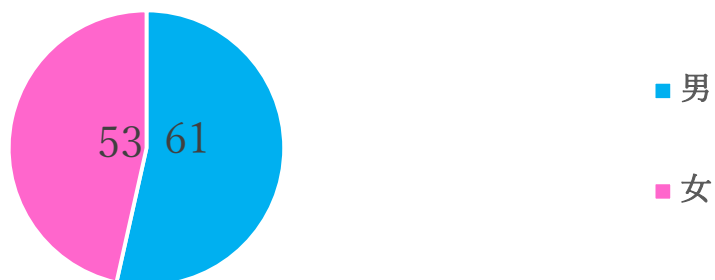
○子どもの年齢別利用状況

子どもの年齢別 利用状況



○子どもの男女利用状況

子どもの男女利用状況





## 【歴史探訪プロジェクト事業】

たらちねでは、2022 年度から新たに「原発事故被災地の歴史探訪プロジェクト」を始動しました。私たちの、日々の活動のなかで思うことは、「なぜ、ここに原発ができたのか」「なぜ、原発事故が起きたのか」ということです。原発はある日突然できたものではなく、この施設を誘致するに至る土地との歴史があり、そこで生きる人々がいます。今年度、主に、福島県双葉郡の「福島第一原子力発電所」立地に住んでおられた方々を中心に聞き取りを行い、これまでの土地の歴史を紐解き、「なぜ、こうなったのか？」を探訪しました。

聞き取りを通して、相双地区の飢餓や戦争、そして、その後の歴史を追っていくと、この地に住む人々は、近代日本の「国策」に翻弄されてきたさまざまな事実がわかってきました。熱源としてのエネルギーは時代とともに、木炭から化石燃料に変わっていき、そのような状況の中、国のエネルギー政策の一環として、原子力発電施設建設が検討されていきました。このように、相双地区では、古くから日本の関東地方、特に首都圏のエネルギー供給地としての役割を担い、その中で必死に命を繋いできた歴史があることがみえてきました。

聞き取りを行った方々は 15 名、施設見学は 12 か所をまわりました。双葉郡の原発立地付近で生活をされていた方々から聞く生の声からは、「今」というのは、過去があって未来へ繋がるものであると改めて考える機会をいただきました。

聞き取りをさせていただいた一人一人の言葉には、これからを生きる私たちへの思い、願いが込められています。わたしたちは、当事者であり、子どもたちの未来を見守る母でもあります。当時を生きた人々の思いを記録し、正しく伝え遺し、これからを生きる子どもたちがよりよく生きる手がかかり、知恵として繋がって欲しいと願っています。

2023 年度も引き続き、この事業は続いていきます。



本資料の無断転載・複写を禁じます

原発事故は、地震や津波等との複合災害として起きることが予想されます。12 年前、多くの人々は、原子力災害への備え、知識が不十分だったため、今でも「あの時、なぜあの行動をとってしまったのだろう。あの時、食べさせた食材は安全だったのか。あの時…」と、後悔の念に苛まれるお母さんたちが大勢います。たらちねスタッフのほとんどがその 1 人です。そして立ち上げたのが、「防災・原発事故の心得プロジェクト」です。ホームページ上に、「防災・原発事故の心得」のカテゴリーを作成し、福島原発事故ではどのような被害が起き、どのような事に備え、どのような事を知っていれば良いのかをまとめました。まずは、万が一に備えてすぐに情報を得られる体制を整えました。

新たな試みとして、ここ最近危惧されている南海トラフ地震で大きな被害を受けることが想定される原発立地町近隣の方たちへの、防災プロジェクトも開始しました。

災害は、いつ、何時起こるかわかりません。防災事業を通して、私たちも 12 年前を振り返り大きな学びがありました。

万が一に備えて、すぐに情報が得られる体制を整えました。事故後、正確な情報を得る事も、得る方法もわからなく混乱した方が多くいました。原発事故の際は、まずは正確な情報を得ることがとても大事な事です。この中には、実際経験した人たちの体験談や困りごとエピソードも掲載しました。家族構成や考え方でも、その後の行動に大きな違いがあることが分かりました。

[illegible]

<https://tarachineiwaki.org/bousai>

### ○たらちね防災プロジェクト

明日起きるかもしれない原発事故。311でたらちねが経験したことを、みなさんの暮らしに役立たせるため、一緒に学び、見て、感じてもらうプロジェクトです。参加の優先対象者は、南海トラフ大地震で大きな被害を受けることが想定される原発立地町近隣の方でしたが、多くの方からの申し込みがありました。あらゆる分野の講師の先生をお招きし、リモートでの学習会や、福島現地見学会を行いました。現地見学会 1 日目は、たらちねの現場見学やスタッフの体験談を聞く座談会、2 日目は双葉郡周辺の資料館や現地見学を行いました。線量計を持参しての双葉郡見学会は、未だ汚染が続いている福島を知っていただく機会となりました。「福島の事を知らなすぎた」ともらす参加者もあり、これから自分たちに何が出来るか真剣に考えておられる方が多くいらっしゃいました。

原発事故防災は、地震国日本の中に核施設がある限り準備しなければならない備えです。2022 年 8 月から休眠預金の助成を受け、防災プロジェクトをスタートすることができましたが、助成期間を終えてもたらちねの大きな事業の一つとして継続していきたいと考えています。

### ○学習会の内容(リモートによる)

- ・ 原発事故が起きたらどうなるの？ 発生直後に市民が出来る被ばく防護について被災者に聞く

講師 たらちね理事長 鈴木薫さん

- ・ 放射能の汚染ってどういうこと？ 放射線と放射性物質について学ぶ

講師 工学博士・元日本原子力研究所主任研究員 天野光先生

- ・ 被爆後の世界で子どもたちはどう暮らすの？ 子どもたちの被ばく防護について聞く

講師 いわきの初期被曝を追求するママの会代表 千葉由美さん

- ・ 原発事故の心の分断 大人の心の井戸と子どもたちの心の井戸 そして語りがもたらす力

講師 渡邊醫院 LIFE DEVELOPMENT CENTER 児童精神科医・副院長 渡辺久子先生



富岡アーカイブ見学の際の集合写真



たらちねスタッフとの座談会

## 【講演会・勉強会】

2022 年度の講演会・勉強会は新型コロナウイルス感染症状況を踏まえながら、昨年度に引き続き会場参加型・オンライン参加型にて開催いたしました。また、会場参加型の講演会は録画内容を YouTube のアップし、当日参加できない方へも情報共有いたしました。

### ○講演会・勉強会・イベント開催一覧

- ① 2022 年 4 月 12 日 こそだてとナラティブ ママカフェ「子どもたちを取り巻く SNS やメディア環境」  
参加人数 7 名

- ② 2022 年 4 月 17 日 「ALPS 処理水」とは「ALPS 処理後汚染水」だった！ー海洋放出影響評価報告書の読み解きと疑問ー 今中哲二講演会  
参加人数 80 名

- ③ 2022 年 5 月 22 日 放射線被ばくの歴史を振り返りながら福島のことを考える  
今中哲二講演会  
参加人数 45 名

- ④ 2022 年 6 月 18 日 西尾正道勉強会 & 講演会  
参加人数 35 名

- ⑤ 2022 年 7 月 11 日 たらちねお話し会  
「残しておきたい故郷のはなし」  
参加人数 12 名



- ⑥ 2022 年 7 月 13 日 こそだてとナラティブ ママカフェ「不登校を科学」  
参加人数 5 名

- ⑦ 2022 年 7 月 28 日 科学寺子屋た・ら・ち・ね第 2 弾おしえて！  
ゆずる先生 海底にはどんな生きものがいるの？  
参加人数 8 名

- ⑧ 2022 年 8 月 12 日 科学寺子屋た・ら・ち・ね第 3 弾おしえて！  
ゆずる先生 海底にはどんな生きものがいるの？  
参加人数 8 名





- ⑨ 2022 年 8 月 18 日  
科学寺子屋た・ら・ち・ね第 4 弾おしえて  
「免疫」感染症と戦う人体の仕組み 高垣洋太郎講演会  
参加人数 30 名



- ⑩ 2022 年 9 月 22 日 勉強会「フリースクールについて」  
参加人数 4 名

- ⑪ 2022 年 9 月 28 日 講演会 ～芸術散歩 in フランス～  
参加人数約 60 名



- ⑫ 2022 年 10 月 17 日 たらちねお話し会  
「残しておきたい故郷のはなし」  
参加人数 12 名

- ⑬ 2022 年 11 月 16 日 こそだてとナラティブ ママカフェ  
「思春期」  
参加人数 2 名

- ⑭ 2022 年 11 月 21 日 勉強会「親の会の役割、運営の仕方」  
参加人数 9 名

- ⑮ 2022 年 12 月 13 日 たらちねお話し会  
「残しておきたい故郷のはなし」  
参加人数 8 名



- ⑯ 2022 年 12 月 20 日 こそだてとナラティブ ママカフェ  
「世代を超えて繋がるこころの井戸」  
参加人数 8 名

- ⑰ 2023 年 2 月 14 日 たらちねお話し会  
「残しておきたい故郷のはなし」  
参加人数 12 名



- ⑱ 2023 年 3 月 11 日  
原発事故から 12 年～当時のことを思い出し今のこと  
・先のことを考える 今中哲二講演会&たらちね活動報告会  
参加者人数 150 名 (zoom での参加 88 名、会場 62 名)



## 【広報活動】

2021 年 4 月、政府が汚染水（処理水）を海洋放出する方針を決定してから、2 年程度後を見込むとした期日が具体的に近づいてきました。原発事故関連の主要なニュースは国内でも一部報じられていますが、汚染に関する詳細な状況は同じ福島に住んでいても伝わってきません。

今の福島の現状を、国内外へ、幅広い年齢層へ、より広く情報発信するべく、複数の SNS ツールを活用しました。

### ○SNS フォロワー数（2023 年 3 月末時点）

- ・フェイスブックフォロワー数 14,665 人
- ・インスタグラムフォロワー数 967 人
- ・ツイッターフォロワー数 661 人

### ○登壇

- ① 2022 年 4 月 21 日 福島原発震災情報連絡センター
- ② 2022 年 6 月 27 日 立教大学発展ゼミナール
- ③ 2022 年 7 月 4 日 立教大学発展ゼミナール
- ④ 2022 年 10 月 29 日 汚染水対策を考えるシンポジウム
- ⑤ 2022 年 12 月 17 日 第 2 回「3.11 を忘れない」チャリティイベント  
「3.11 から 11 年福島の今とこれから」～子どもたちの未来を守るために～
- ⑥ 2023 年 1 月 28 日 震災原発事故避難者は今 Part8 福島ー内から外からー子どもたちの 12 年
- ⑦ 2023 年 2 月 18 日 未来に向かって～福島の今、子どもたちの健康を守るため～
- ⑧ 2023 年 3 月 5 日 汚染水問題のいわき地域での取り組み
- ⑨ 2023 年 3 月 8 日 環境放射能研究会
- ⑩ 2023 年 3 月 16 日 知っていますか？フクシマの今

○メディア掲載情報・取材・見学  
・クリスチャンサイエンスモニター



・高木基金だより



・グリーンピース・ジャパン

事実を隠蔽するのではなく明らかにすることが、放射能への不安を取り除く最も確かな方法— たらちね - 国際環境 NGO グリーンピース (greenpeace.org)



・ラッシュジャパン メルマガ・ウェブ 3.11 配信

<https://weare.lush.com/jp/lush-life/our-giving/grassroots-story/tarachine/>

・2022 年環境放射能研究会発表 電子版 (18-96 ページ)

<https://lib-extopc.kek.jp/preprints/PDF/2022/2225/2225002.pdf>

・未来の福島こども基金 ニュースレターNo.25 2023 年 3 月発行

[newsletters-no25.pdf](https://newsletters-no25.pdf) ([fukushimachildrendefund.org](https://fukushimachildrendefund.org))

「東京電力福島第一原子力発電所汚染水放出に関する環境モニタリングの官民連携についての要望」

いわき市市長へ

・2022年4月19日 朝日新聞掲載

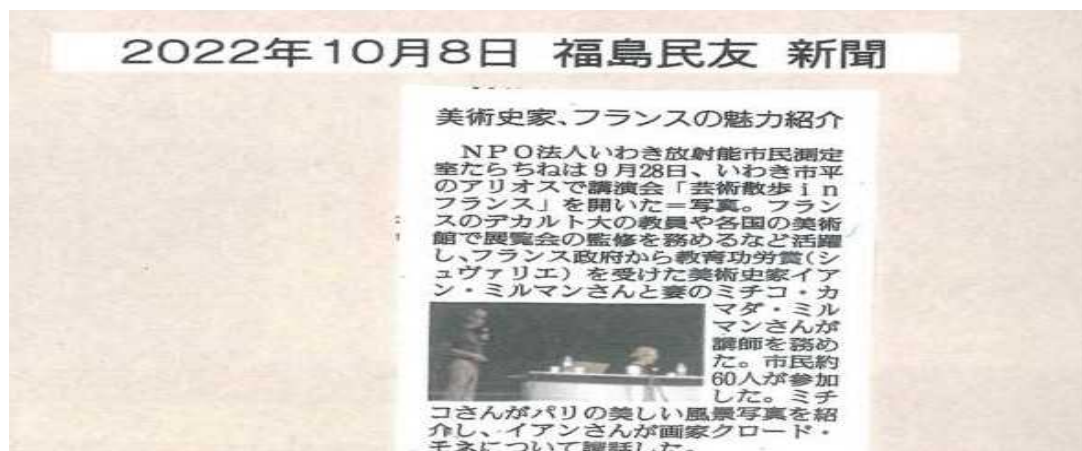


・2022年4月20日 福島民報掲載



「芸術散歩inフランス」講演会記事

・2022年10月8日 福島民友掲載



見学人数 86名

以上、2022年度認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちねの事業報告といたします。